

相模原市民ギャラリー

—学生企画による学生作家の展覧会—

わたしはあなたが理解できない展—そこから始まるコミュニケーション

記者会見資料

事業内容

大学生たちが自らの手で企画・準備する展覧会

相模原市は、市域やその周辺に女子美術大学・多摩美術大学・東京造形大学など関東5美大のうちの3美大が集中し、非常に美大生に恵まれた環境にある。そこでは多くの美大生たちが作品制作に励んでいるが、展覧会そのものをつくりあげるアート・プロデューサーを旨とする学生も少なくない。

そこで相模原市民ギャラリーでは、美大生を中心に参加を呼びかけ、企画から作家選出、さらには準備から広報・運営までのすべての行程を自分たちの手で行う長期型のワークショップ「エキシビション・プログラム」（学生企画展）を平成13年度から実施している。

このたびの展覧会は、その第4期生が1年以上をかけて準備してきたもの。

経過

1年前から準備にとりかかる

昨年5月に市民ギャラリーが参加者を募集。参加学生スタッフは大学の授業終了後、毎週木曜日の夜に市民ギャラリーに集合し、3グループに分かれてそれぞれ企画案を作成した。この3案を女子美術大学・多摩美術大学・東京造形大学の教授などの指導・審査を受けて1案に絞り、その案に合わせて出品作家（別の美大生）を選出し、細かな調整などをしながら展覧会開催の準備をすすめてきた。ミーティングの数はすでに70回を超えている。最後までこの準備にとりかかってきた第4期生は6名（学生スタッフ一覧参照）。

広報活動

マスコミへのPR活動

このワークショップでは、展覧会の周知活動もすべて学生スタッフが行っている。毎回、展覧会が近づくと広報担当の学生スタッフが市役所の記者クラブや地元のテレビ局・ラジオ局、美術雑誌の編集室などを訪れ、展覧会の主旨・内容・見所などを紹介している。今回は初めて定例記者会見の席でPRをさせていただくこととなった。

内覧会

8月1日（金）15:30～16:15 展示会場にて

主催者・学生スタッフ・学生作家・協力者などの出席による内覧会がある。学生スタッフによる経過説明や、学生作家による作品紹介などを予定。

学生スタッフ (6名)

	学生スタッフ	所属大学名	備考
1	石橋 唯	多摩美術大学 2年	
2	奥山 珠里	多摩美術大学 2年	
3	久野 真明	多摩美術大学 2年	
4	増田 翠 (みどり)	武蔵野美術大学 1年	記者会見での広報担当
5	村田 幸那	武蔵野美術大学 3年	
6	松本 悠美子	女子美術大学 3年	記者会見での広報担当

展覧会内容 **展覧会のテーマはコミュニケーション**

★詳細は別添チラシ・資料のとおり。

出品作家 (10組) **出品作家もすべて大学生**

この展覧会に出品する作家もすべて大学生。学生スタッフがテーマに合わせて選出し、出品交渉をしてきた。

	出品学生作家	所属大学名	備考
1	山上 晃葉	多摩美術大学 大学院	立体作品
2	吉野 絵里	武蔵野美術大学 大学院	平面作品 (絵画)
3	菊田 真奈	日本大学芸術学部 4年生	写真作品
4	ぴか 2 匹 (鬼澤直雅・原田俊人)	武蔵野美術大学 4年生	立体作品
5	永田 陽子	多摩美術大学 4年生	映像作品
6	杉山 潤	多摩美術大学 大学院	平面作品 (絵画)
7	八幡 亜樹	東京藝術大学 大学院	映像作品
8	TETTA (テッタ) (杉本聡子)	多摩美術大学 大学院	写真作品 パフォーマンス
9	柴田 真梨子	女子美術大学 4年生	平面作品 (絵画)
10	早稲田大学モダンダンスクラブ (5名)		モダンダンス

*展示順

関連イベント

【パフォーマンス】

(1) 「TETTA といっしょに Say! Bonno—生煩惱—

期日：8月3日 (土)(日) 17:30～19:30 頃まで

会場：相模原駅前公園 (夏祭り会場にて)

内容：テーマは人間の「煩惱」。TETTA こと杉本聡子 (多摩美術大学) が官能菩薩 (観音菩薩) に扮し、賑やかな盆踊り会場で、集まった人々の代わりに個々の煩惱を叫んで解消する。

(2) 「イノセント」(モダンダンス)

期日：平成 20 年 8 月 23 日 (土)・24 日 (日) いずれも 15:00～15:30

会場：展覧会々場内

内容：早稲田大学モダンダンスクラブの 5 人が、ダンスという表現手段で現代のコミュニケーションのあり方を問う。

【ギャラリー・トーク】

(1) 「あんた全然わかってない！」(作品トーク・バトル)

期日：8 月 2 日 (土)・23 日 (土)・24 日 (日) いずれも 14:00～15:00

会場：展覧会々場内

内容：学生スタッフがそれぞれの作品について解釈をぶつけ合うバトル感覚のギャラリートーク。出品作家本人によって勝敗が決められる。

(2) 「作品ガイド」

期日：会期中毎日(ただしトークバトルの日は除く) いずれも 14:00～15:00

会場：展覧会々場内

内容：学生スタッフが作品の説明をする。

【BGM】

制作：野口 淳(多摩美術大学 2 年生) *学生スタッフの友人

展覧会のテーマに合わせて制作したラップ調のイメージソング。

関連イベントのオープニング等の時に流れる。

担当課

相模原市民ギャラリー TEL: 042 (776) 1262

担当者：柳川・中野 (水曜日休館)

参考—これまでの学生企画展—

展覧会名	会期	備考	入場者数
日常解体新書	H14 年 4 月 21 日 ～ 5 月 11 日 *準備は H13 年 5 月から	第 1 期学生スタッフ 8 名 同展参加学生作家 8 名	1,027 人
空のリレー	H16 年 8 月 1 日 ～ 8 月 22 日 *準備は H15 年 5 月から	第 2 期学生スタッフ 10 名 同展参加学生作家 9 名	1,512 人
アート・バカンス! —今年の夏はバカに熱い	H18 年 8 月 5 日 ～ 8 月 27 日 *準備は H17 年 5 月から	第 3 期学生スタッフ 13 名 同展参加学生作家 10 名	1,942 人